

平成30年10月27日

(あて先) 一宮市長 様

<申請者>

所在地 一宮市萩原町西御堂854

団体名 萩原町連区交通協議会

代表者 職・氏名 会長 平野 吉廣

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	ニコニコふれあいバス利用促進事業の推進		
2 事業の分野 <small>〔主たる分野を一つ選択し、○で囲んでください。〕</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	382,146円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	673,220円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	573,220円
当該事業によって得られる収入 (c)	150,000円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	382,146円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	萩原町連区交通協議会		
市内事務所の所在地	〒491-0365 一宮市萩原町西御堂854		
代表者職・氏名	会長 平野 吉廣		
設立年月	平成18年 7月	構成員の人数	30人
U R L	http://		
連絡先 ※この申請に関する問合せに対応できる方	(担当者氏名) 鶴飼 一朝 (090-8678-2084)		
	電 話	69-0620	FAX 69-8051
	E-mail	ukai@u-corp.net	
団体の目的	本会は、生活交通バス（ニコニコふれあいバス）の利用促進事業を推進し地域の活性化を図ることを目的とする。		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定例全体協議会会議の開催を、年に7～8回。 ・利用者50万人記念行事の開催。 ・10月に12年目を迎える感謝デーの開催。 ・委員全員参加による1便～10便の利用者アンケートを車内で行い利用実態を把握し今後の利便性向上と利用者の増加を追求する。 		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H18年7月～H31年1月 協議会開催91回 役員会開催105回 ・H19年10月28日 出発式並びに祝賀会行事 参加者600名 ・H22年12月 利用者アンケート実施により コース変更等実現 ・H25年10月22日 国土交通省中部運輸局より地域交通の確保の功績により中部運輸局長より表彰をうける。 ・H27年10月 8周年記念感謝デー 参加者 約750名 ・H26年9月 豊田・高岡ニコニコふれあいバスとの交流会 ・H27年10月一宮だいたいフェスタ大集合参加(一宮秋まつり実行委員会主催) ・H29年10月22日10周年記念感謝デー開催及び利用促進冊子発行 		
今年度予算額	673,220円	昨年度決算額	949,620円
条例第2条第3項に掲げる要件について	<input checked="" type="checkbox"/> すべて満たしている <input type="checkbox"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>萩原町速区交通協議会</p>
<p>事業の名称</p>	<p>ニコニコふれあいバス利用促進事業の推進</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください) 平成31年 4月 1日 ~ 平成32年 3月31日</p> <p>(2) 実施場所 事業準備 (含むまとめ) : 萩原町公民館 (旧看護学校講堂) 感謝デー会場 : 一宮市立中島小学校 屋内運動場 利用者アンケート実施 : バス車内及び一宮駅バス停留所</p> <p>(3) 受益対象者 ニコニコふれあいバス運行ルートの周辺住民と一宮市在住者及び在勤 在学者</p> <p>(4) 実施体制 協議会委員はバス運行ルートの全町会長を含む30名が中心となり、 バス運行会社にも会議に参加してもらい、毎回バスの運行に関する地 域の要望を議題に協議をし、ニコニコふれあいバスが安全で安心な運 行が出来るように活動をしております。</p> <p>(5) 具体的な内容 ○記念感謝デー開催 事前準備—実施内容の検討 記念感謝デーの開催 (予定 10/27) バス停掲示用ポスターの製作者 (小学校児童) の表彰 6名 中島小学校—2名 大和南小学校—2名 大和東小学校—2名 横断幕の掲示 内容—記念式典・演芸・フリーマーケット 反省会と課題の克服</p> <p>○利用者50万人記念事業の開催 事前準備—実施内容の検討 開催予定時期—31年度春 場所—ピアゴ妙興寺店 (予定) 横断幕の掲示 式典、50万人目の利用者への感謝状とお祝い品贈呈</p> <p>○小学生のマナー体験乗車の実施</p> <p>○協賛企業の協力による新たな利用者促進事業の検討</p> <p>○利用者のアンケート実施 事前準備—手段と実施内容の検討 アンケート実施 (予定 平成31年9月) 交通協議会委員 (沿線町会長を含む) 全員で1便~10便までの</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

	<p>乗客全員に聞き取り調査を実施し、協議会でまとめてから、会議で市役所交通政策室に伝え運行の利便性、安全運行の向上にむすびつける。</p>						
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>○利用者50万人達成を広くアピールし、今後の利用者増につなげる。 ○感謝デー開催を通してより多くの方にニコニコふれあいバスの利用を促進する。その為、今まではプロの芸人の方に出演して頂き住民の皆さんに見て頂いていましたが今度からは、地域の親睦を図るための大会（出演者、審査員で100名予定）を開催して住民参加の催し物としてより多くのかたに参加頂きニコニコふれあいバスを知って頂き利用に結びつけて行きたい。</p>						
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>○公共交通の足がなくなり、高齢者や交通弱者の方々に買い物・通院等の不便が発生し、平日は特に自由の利かない陸の孤島となっていた。悲願が実り、平成19年11月から正式に運行されることになりました。利用者は、平成20年1年間で29,174名、去年の平成29年1年間では48,611名もの方に利用頂きました。利用者数は、平成28年度初めて前年を下回りましたが、29年度は増加する事が出来ました。今後も萩原町連区交通協議会を通じて、地元住民への理解深めてもらい、協賛企業の協力をえて利用者の増加へと結び付けれるように協議会で検討をしていきたい。</p> <p>今後とも交通協議会の活動を通してニコニコふれあいバスが地域に無くてはならない生活の足として末永く利用されるよう事業を実施する。当バスは、将来の運行保障がされているわけではないので利用者が減少すればバス運行はなくなってしまいます。よって地域の活性化と利便性向上のために活動を続けなければなりません。</p>						
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>○感謝デー 前回までとは演芸の趣向を替え、地元の住民参加による地域の親睦を図るための大会として審査員も住民の方にして頂きより多くの方に参加頂き、ニコニコふれあいバスの運行にも理解いただき利用者の増加にもつながり、また地域の活性化にも役立つことができる。</p> <p>○利用者50万人記念事業の開催 記念事業を通じてバスの運行を知ってもらうとともに会場を変えることによってバス沿線の皆様に広く知って頂き利用者の増加につなげる。</p> <p>○利用者アンケート 協議会委員全員がバスに乗車し利用者の生の声を聞き自らもバス利用を体験することは今後バス運行の安全安心の議論を深めるものであり当協議会の活動を発展させるものである。</p>						
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期（月）</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31/5（予定）</td> <td>○利用者50万人記念事業の開催</td> </tr> <tr> <td>7月 11月</td> <td>○小学校児童バス乗車マナー体験実施 ○感謝デー</td> </tr> </tbody> </table>	時期（月）	内 容	31/5（予定）	○利用者50万人記念事業の開催	7月 11月	○小学校児童バス乗車マナー体験実施 ○感謝デー
時期（月）	内 容						
31/5（予定）	○利用者50万人記念事業の開催						
7月 11月	○小学校児童バス乗車マナー体験実施 ○感謝デー						

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

	31/4～10月	事前準備—実施内容の検討
	10月	感謝デーの開催（予定10/27）
	11月	反省会と課題の克服
	4月～10月	○協賛企業の協力による新たな利用者促進事業の検討
	31/9月	○利用者のアンケート実施
	6月～8月	事前準備—手段と実施内容の検討

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 萩原町連区交通協議会

事業の名称 ニコニコふれあいバス利用促進事業の推進

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	382,146	
事業収入	150,000	フリーマーケット売上 150,000円
自主財源	141,074	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 (社会福祉協議会)
計	673,220	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	216,000	216,000
旅費	11,000	11,000
印刷製本、消耗品費	166,600	166,600
食糧費	100,000	0
通信費、手数料	13,620	13,620
備品費	110,000	110,000
人件費	45,000	45,000
使用料、賃借料	11,000	11,000
その他	0	0
計	673,220	573,220

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳 ^{※1}
	支援金算出額 (円)	
報償費	216,000	・利用者50万人記念事業 出演料(司会者)50,000円 記念品10,000円
	216,000	・感謝デー 出演料(含む交通費)―太鼓・バナナのたたき売り・あかつき 富美京会等予定 150,000円 ポスター表彰状粗品(図書券―1000円) 1000×6=6000円
旅費	11,000	感謝デー出演者・イベント関係者との打ち合わせ ・ガソリン代 400K×20円=8,000円
	11,000	・電車賃等 3,000円
印刷製本、 消耗品費	166,600	資料・アンケート等のコピー @10円×5部/回×40人分×8回+@10円×40=16,400円 感謝デーPRポスター @100×200部=20,000円 感謝デーボランティア及びフリーマーケット募集案内 @10×400=4,000円
	166,600	会場設営消耗品代 30,000円 賞状額―1200×11=13,200円 50万人記念乗車用花束 8,000円 小学校児童バス乗車マナー体験用パンフレット 2000部×25 =50,000円 大会審査員用胸章 500×50個=25,000円
食糧費	100,000	軽食・飲み物等 @200×500人分=100,000円 (0)
	0	
通信費、 手数料	13,620	ボランティア保険料 12,000円 郵送代 1,620円
	13,620	
備品費 ^{※2}	110,000	記念品(地域の親睦を図る為の発表会用持ち回り品)小学校区 全体の大会になっているので今後の参加意識の向上のために 必要 90,000円
	110,000	感謝デー会場(体育館入口及び校門)垂れ幕 10000×2枚=20,000円
人件費	45,000	会議資料作成・アンケート集計・冊子資料整理等

	45,000	スタッフ費用@900円×50H=45,000円
使用料、 賃借料	11,000	感謝デー会場使用料 3,000円 感謝デー駐車場使用料 8,000円
	11,000	
その他	0	
	0	

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを（ ）書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。